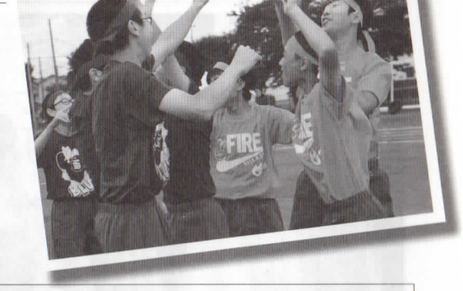
若葉

第１０４号
2018年10月5日
発行：八戸市立江陽中学校
ＰＴＡ広報委員会
八戸市江陽１丁目1-35
電話：４３－１４３４

体育祭～ＳＰＡＲＫ～

８月２６日、沢山のご来賓の皆さまに見守られ、江陽中学校体育祭が行われました。あいにくの曇り空でしたが、テーマ”ＳＰＡＲＫ“のとおり、火花が散るような熱戦が繰り広げられました。



各学年の徒競走や工夫を凝らした技能走では、真剣な表情で走り抜ける生徒たちに声援や拍手が飛び交いました。

軍対抗選抜リレー、軍対抗綱引き、各学年の団体競技、全校ムカデリレー。どの競技も手に汗握る熱戦となり大変盛り上がりました。

結果は、総合優勝「青軍」、行進賞「青軍」、応援合戦最優秀賞「青軍」、応援合戦優秀賞「紅軍」。また、三年間プログラムの表紙を描いてくれた小坂華月さんに「奨励賞」が贈られました。今年も素晴らしい体育祭となりました。感動をありがとうございました。

（三年Ｐ）

はじめまして　新教頭です」

教頭　蔦川　誠

三月の末に、全校生徒と吹奏楽部の演奏に温かく迎えられ、江陽中での新たな生活がスタートしました。

一学期を過ごす中で感じた、江陽中の良さを何点かお話します。

一つ目は、生徒が明るくとても素直だということです。素直なので、努力次第では学力が大きく伸びる可能性を秘めています。私自身は今年久しぶりに三年生を担当することになり、責任の重さをひしひしと感じています。先ずは学力アップを目指し、日々の授業を充実させるよう頑張ります。特に私は社会科担当ですので、生徒一人一人に、現代社会の仕組みと新たな動きなどをしっかりと理解させたいと思っています。

二つ目は、本校の教職員が生徒一人一人にしっかりと向き合い、目をかけ、声をかけ、手をかける教育活動を実践していることです。

三つ目は、本校が地域の皆さまから多大な支援をいただいていることです。地域からの本校への期待はとても大きいものがあります。

このように、生徒が素直で教職員が一生懸命で、地域から大きな支援をいただいている江陽中に勤めることができ、とても幸せです。私自身、今までの経験を活かし、精一杯頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

【今までの軌跡】

白銀中→根城中→三戸中→白銀南中→第二中→北稜中→三八教育事務所→市川中→江陽中

お帰りなさい！
～修学旅行～

5月18日、3泊4日の修学旅行を終え3年生51名が、無事に帰って来ました。

たくさんのお土産を抱えて

出発の日は汗ばむ程の五月晴れ。関東方面は三十度近い気温で毎日とても暑かったそうです。初めて見る場所や体験は、子供たちにたくさんの刺激を与えてくれたことでしょう。

ただ一つ残念だったのは「国会議事堂」が非常に混雑していたため、その後の「江戸東京博物館」が見学できなかったことです。国会議事堂は人気スポットなのですね。巷の噂では、元号が変わる前に「平成」のグッズを買い求める人がいるのだとか・・・。

さて、修学旅行から帰って来た日、八戸は気温が十度台のとても寒い日でした。子どもたちの疲れた身体にはとても堪えたと思います。それでも、帰ってきてホッとしているように見えました。

（三年Ｐ）

ようこそ！江陽中へ

1．氏名
2．担当教科、クラス
3．担当部活動
4．江陽中の印象は？

1．蔦川　誠
（つたかわ　まこと）
2．３学年社会、
１－６国語・社会
3．なし
4．生徒が素直で明るい
（無限の可能性を秘めている）

1．伊藤　広哉
（いとう　ひろや）
2．全学年数学、
１－１担任
3．陸上部
4．良い意味で先輩後輩の壁がなく、みんな仲が良い

1．三浦　瞳
（みうら　ひとみ）
2．全学年音楽・家庭科
3．吹奏楽部
4．元気で明るい生徒たち

1．村木　誉史
（むらき　たかふみ）
2．全学年数学、2−1担任
3．サッカー部
4．合唱が上手だと思います。対面式で校歌を歌ってもらったことは大切な思い出になりました。

1．成田　純子
（なりた　じゅんこ）
2．特別支援アシスタント
3．なし
4．賛美歌のような美しいハーモニーの校歌は、初めて聞いた時感動しました。生徒同士が仲良く、地域の皆さんに愛され支えられている学校だと日頃から感じています。

歌声響かせ
～合唱コンクール～

七月十一日の合唱コンクール。今年でコンクール形式での開催は最後になります。各クラスとも練習の成果を発揮し、会場は素晴らしい歌声に包まれました。

昨年まで指導していただいた柏﨑智子先生が審査員を務めて下さり、久しぶりの再会に生徒たちの笑顔も弾けていました。

（三年Ｐ）

編集後記

通学リュックを背負って体重計に乗ってみた。なんと十キロ増。体重増加？いやいやそんなはずはない。毎日背負って通学している子どもを見て、何とかならんか！と思うが、その分いろいろな面で成長し頼もしく感じるこの頃である。

（一年Ｐ）

感　謝

陸上部保護者　三浦恵美子

陸上部に入ると決めた息子に、私は不安しかありませんでした。しかし、私の不安をよそに、息子は「部活楽しい！」と一生懸命に練習し、大会のたびに少しずつ記録を伸ばしていきました。二年生で部長を任されてから、いろいろな壁にぶち当たりましたが、逃げ出すことなく前向きに取り組んでいましたね。三年生最後の大会。目標としていた記録には届かなかったけど、自己ベストのタイムで終わることができました。陸上部に入って偉大な先輩方、可愛い後輩たち、いつも温かく見守って下さった先生方、そして大切な仲間たちに出会え、ひと回りもふた回りも成長させてもらいました。陸上部との出会いに感謝！

感　謝

バスケットボール部保護者　勝田　知佳

小四、ただただボールを追いかけ。小五、少しずつバスケットボールの形ができ始め。小六、勝利する喜びを味わい。中一、小学校とは違う部活。環境。中二、他校との練習をすることで自分たちの甘さに気づき。中三、チームプレーを形にする難しさに直面。一年一年、精神的にも技術的にも成長しましたね。個々に達成感であったり、後悔であったりがあると思います。その時の感情を忘れずに、次のステップに繋げて欲しいです。六年間みんなとバスケをできたことに感謝。

お忙しい中ご指導して下さった古市先生、さくらコーチ、水石先生、蔦川先生に心より感謝申し上げます。

保護者の方も、早朝からの送迎、弁当作りお疲れ様でした。

サッカーを通じて学んだこと

サッカー部保護者　和田みゆき

小四から始めたサッカーを通じて学んだことはたくさんあったと思います。試合で勝つための難しさ、チームで戦う難しさなど、団体競技でなければ経験することができないことを、六年間よく頑張ってくれたと思います。

学年が進むごとに、ひとりひとりの考える力、仲間を助ける意識、責任を持つプレー、勝つことへの闘争心、最後まで諦めない心などを、試合を重ねるたびに成長する姿に嬉しく思うとともに、たくさんの感動をもらったことに感謝しています。

これまで学んだことを無駄にしないで、これからに生かして欲しいと思います。

いつも支えていただいた先生方、コーチの方、保護者の皆さん、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

部活動

リアルガチ全員野球

野球部保護者　蛭子　潤一

中学一年春、一年生部員は三人。二年生になり、頼もしい仲間が二人入部して、一年生の新入部員も入り、何とか試合にも出ることができました。初めての遠征も良い思い出になりました。三年生になり、新入部員が一人加わり、春季大会に向けて取り組みましたが、惨敗。この後、少しずつ皆の意識が変化してきました。先生方も練習方法を色々考えて下さり、保護者も加わり自主練も頑張りました。練習試合も勝てるようになり、皆の成長が嬉しかったです。最後の大会は、実力を出し切れず、悔し涙で終わりましたが、この悔しさを忘れず、失敗を恐れずに、次の塁を狙う強い心で、これからも頑張って下さい。

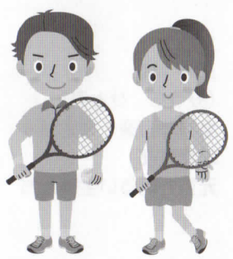
先生方、保護者の皆さま、楽しい仲間たち、本当にありがとうございました。

大好きなソフトテニス

テニス部保護者　听崎　和子

「テニス、楽しそう♡」。初めは、そんな気持ちで入部を決めた娘でしたが、現実は思った以上に過酷なスポーツでした。夏は炎天下の中、真っ黒に日焼けしてボールを追い、雨風が吹き付ける中、試合をしたこともありました。でも、テニスが大好きな仲間たちは、弱音を吐くことはなく、ラケットを振り、声を出して部活に打ち込みました。これから様々なことを経験していくと思います。でも「ピンチはチャンス！」という気持ちで突き進んでいって欲しいと思います。

指導して下さった先生方、コーチ、支えてくれた保護者の皆さま、仲間達へ、心から感謝申し上げます。



感動・成長・感謝

吹奏楽部保護者　平内　千明

まずは、県大会三年連続出場、本当におめでとう。今年は智子先生も異動となり、いつも以上に不安な気持ちで臨んだコンクールだったのではないかと思います。地区大会の閉会式で「地区代表」と言われた時の感動は今でも忘れることができません。三年生になり、後輩たちを指導していく大変さ、難しさもあったと思います。そんな中で県大会三年連続出場ができたのは、励まし合い共に頑張ってきた仲間の皆がいてくれたおかげだと思います。部の仲間との友情をこれからも大切に、そして感謝の気持ちを忘れずに文化祭まで頑張ってください。

三浦先生、嘉瀬先生をはじめ、保護者の皆さま、本当にありがとうございました。